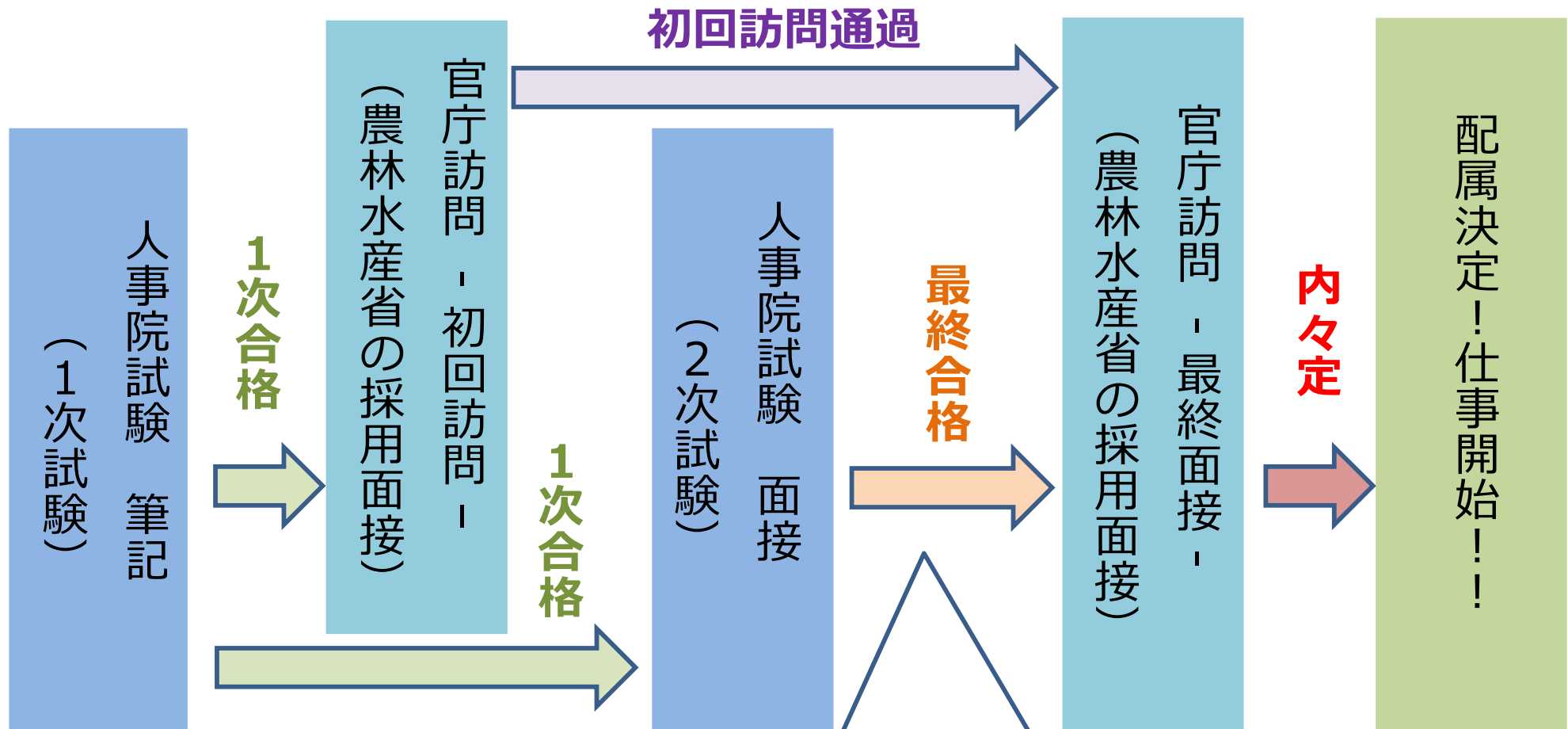


3.一般職農業技術系職員について

農林水産省で働いている人ってどんな人？

(働くまでの大まかな流れ)



最終合格者（2次試験まで合格した人）は採用候補者名簿に記載されます。
一度名簿に掲載されると**5年間**有効（2023年試験から）で、有効期限内の官庁訪問に参加する事が出来ます。

農林水産省で働いている人ってどんな人？

	事務系(事務官)	技術系(技官)
総合職	●院卒者試験 「行政」 「法務」 ●大卒程度試験 「政治・国際」 「法律」 「経済」 「教養」	●院卒者・大卒程度試験 「農業科学・水産」 「農業農村工学」 「森林・自然環境」 「化学・生物・薬学」 「工学」 「デジタル」 「数理科学・物理・地球科学」 「人間科学」 「教養」 ●獣医系技術職(総合職相当)
一般職	●大卒程度試験 「行政」	●大卒程度試験 「農学」、「化学」、「物理」 「農業農村工学」、「機械」 「デジタル・電気・電子」 「林学」、「土木」、「建築」 ●畜産系技術職(一般職相当) ●水産系技術職(一般職相当)

国家公務員一般職試験(技術系)と農林水産省の採用区分

採用区分 試験区分	農業技術系 (本省一括採用)	農村振興技術系 (農政局採用)	畜産系 (本省採用)	統計部IT系 (本省採用)	水産工学系 (水産庁採用)	林野庁 (林野庁採用)
	○農業・食料全般 ○スマート農業 ○食品安全	○農業農村整備 ○農村地域づくり	○畜産振興 ○畜舎等の建築	○情報セキュリティ、デジタル化 ○統計	○水産全般 ○水産技術	○森林・林業全般
農学※	○	○	※別途 畜産系技術職 (一般職相当) 有り	○		
化学※	○	○		○		
物理	○	○				
デジタル・電気・電子	○	○		○	○	
機械	○	○			○	
農業農村工学		○				
土木		○			○	○
林学※						○
建築			○		○	○

※ 「農学」「化学」「林学」は、上記のほか植物防疫系(植物防疫所採用)の対象

農林水産省の採用について

令和5年度 一般職試験・採用スケジュール

3月1日
～3月20日

試験インターネット申込期間

6月11日

第1次試験
(多肢選択式・記述式)

7月5日

第1次試験合格発表

7月7日
スタート

官庁訪問
(農林水産省の採用面接)

7月12日
～28日

第2次試験
(人物)

8月15日

最終合格発表

8月17日
スタート

最終面接
(農林水産省の採用面接)

試験に合格すると…
最終合格者は採用候補者名簿に記載されます。
一度名簿に掲載されると**5年間**有効です。

一般職官庁訪問（令和5年）

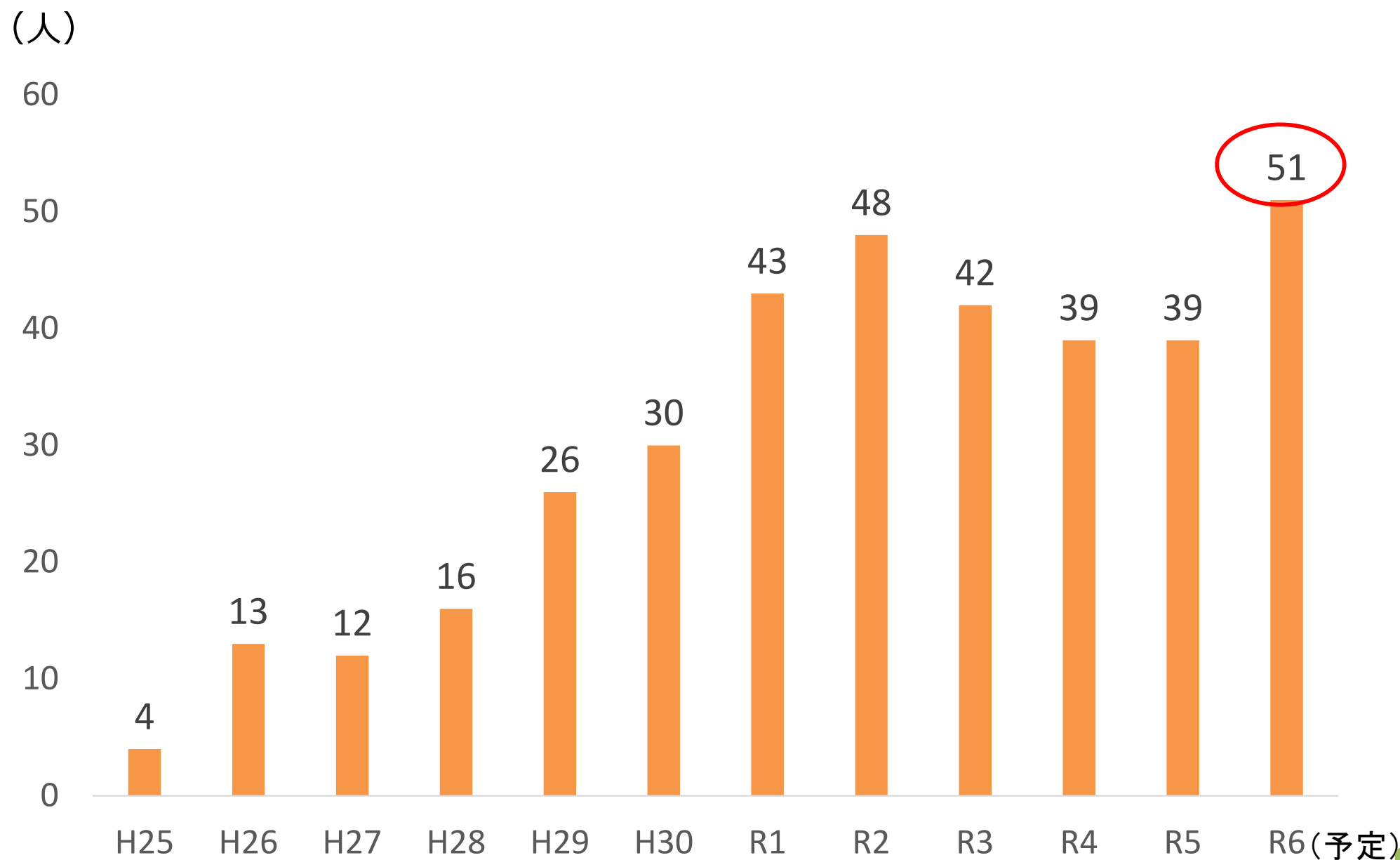
7 月								8 月								
5	6	7	8	9	10	11	...	15	16	17	18	19	20	21	22	23
水	木	金	土	日	月	火		火	水	木	金	土	日	月	火	水
1次合格発表	1次合格者説明会	 初回訪問 (対面)						最終合格発表		 最終採用面接 (対面)						

※7月9日、8月19日、8月20日は実施せず。

※最終面接は植物防疫系と合同で実施。

官庁訪問予約受付は7月5日～6日まで

一般職技術系(農業技術系)の採用状況

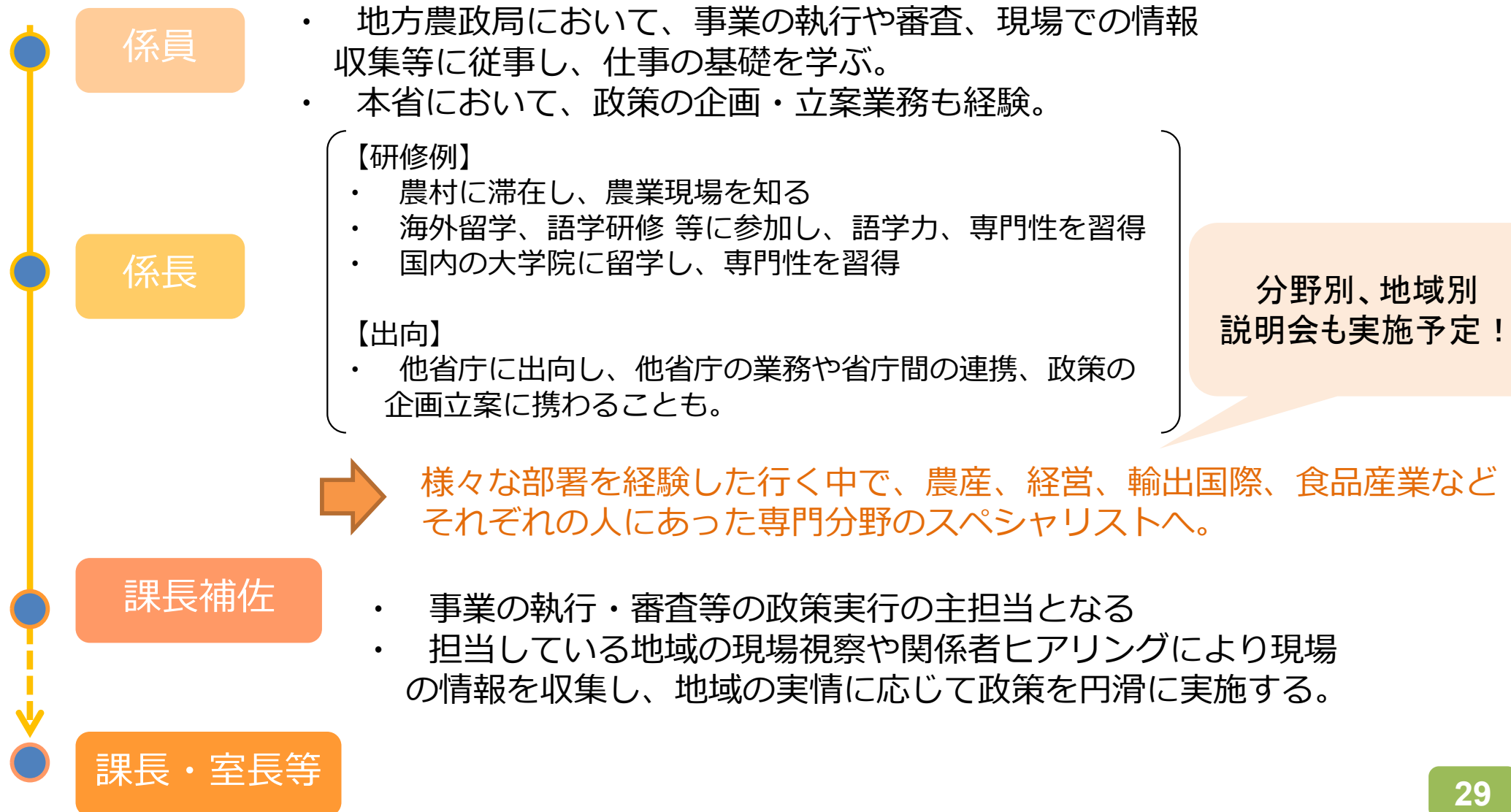


一般職農業技術系

- ・ 本省
- ・ 地方農政局

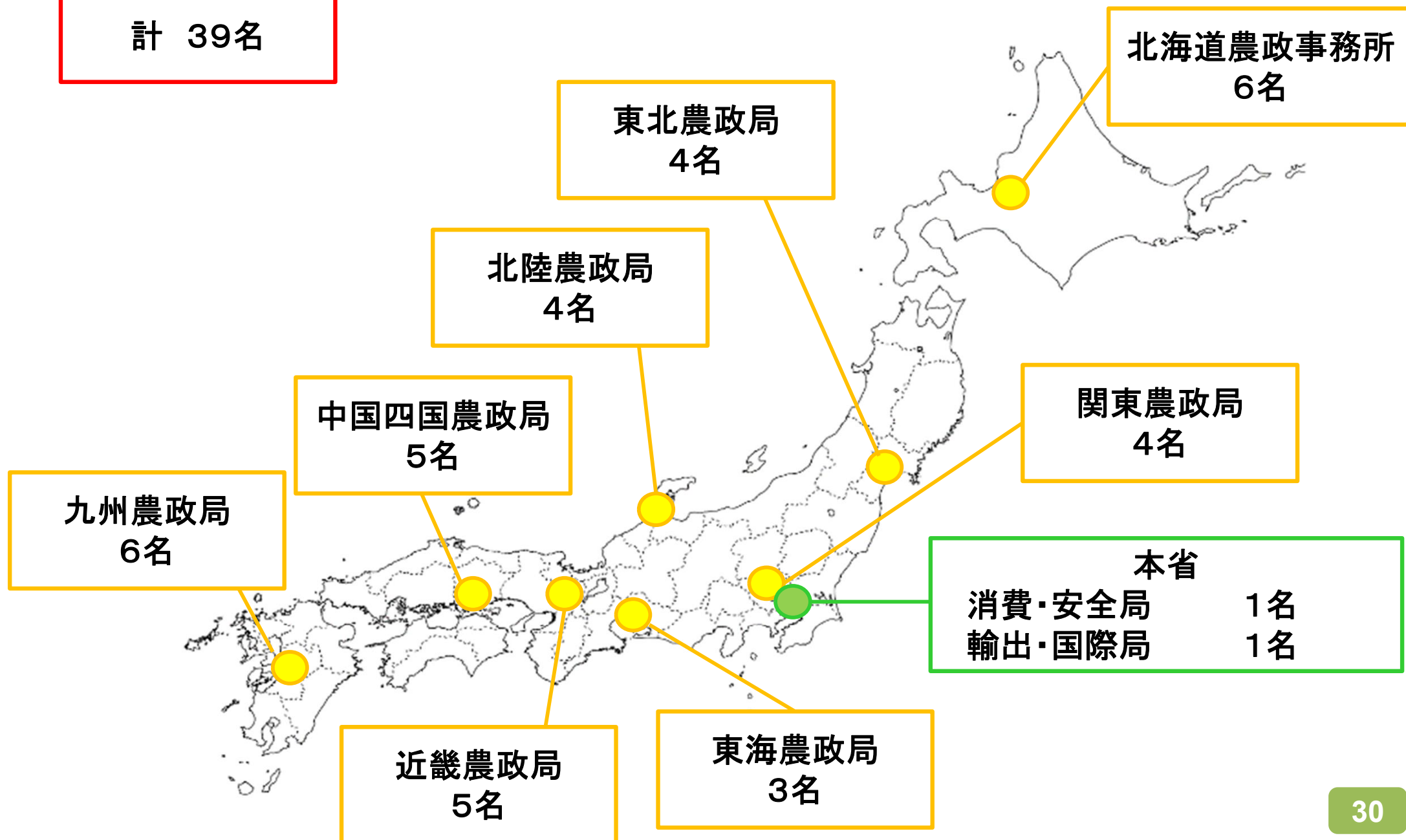
農業技術系一般職のキャリアイメージ

地方農政局において事業執行や現場での情報収集等の農業施策の実施に関する業務経験を積みつつ、本省での企画・立案にも経験し、スペシャリストとして活躍！



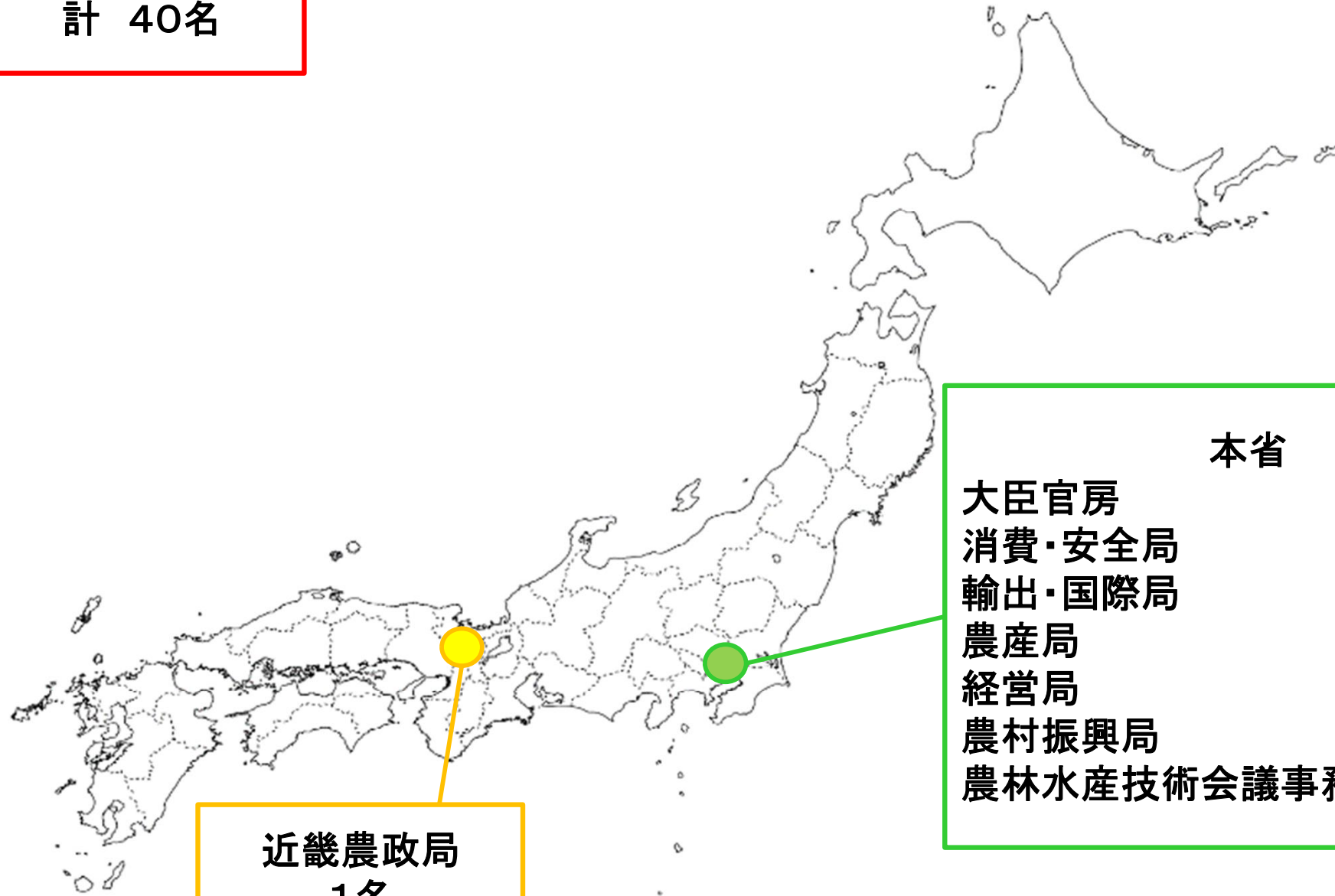
R5年入省の一般職技術系職員の主な配属先（農業技術系）

計 39名



R3年入省の一般職技術系職員の主な配属先（農業技術系）

計 40名



地方農政局での仕事風景①



高収益作物の生産・需要
拡大現地検討会の様子
@近畿農政局



麦・大豆に関連する支援
策（補助事業）の説明
@九州農政局



農政局内の「米粉」に係
るイベント（消費者の部
屋等）で、地元テレビ局
からの取材対応
@北陸農政局



親子花育セミナー「夏休
み！花市場に出かけよ
う！」で参加者に説明し
ている様子
@東海農政局

地方農政局での仕事風景②

災害対応



政務出張随行



生産者説明会



資料作成



打合せ



情報収集



補助事業関連視察



BUZZMAFF撮影



電話対応



データ整理



PRイベント



自治体説明会



オンライン会議



4.人材育成と両立支援制度

政策Open Lab

- **勤務時間の1～2割で新規の課題解決プロジェクト**を立案・実行。
所属部局に関わらず関心のある職員がチームを組み、新たな農林水産政策を立案。
予算の活用も可能。

<有機食品消費拡大プロジェクト>

- ・「みどりの食料システム戦略」の目標を達成するため、消費サイドにもアプローチ
- ・昨今のトレンドの変化を捉えた新たな有機食品の訴求方法の検討

→コンビニメーカーとの連携による有機食品消費拡大！



<国産長粒種米輸出拡大プロジェクト>

- ・国内の主食用米の需要量は、毎年約10万トン減少しており、米の輸出拡大に一層取り組む必要。
- ・国内における長粒種米の生産可能性の検証（生産コスト、品質向上を検証）及び、米粉麺等への加工実証
- ・海外での日本産長粒種米の販売可能性の検証

→長粒種米を日本国内で生産し、世界において「売れる米づくり」へ！



農水省職員がYouTuberに!?



【BUZZMAFF】



【設立】2020年1月7日（3年）
【チャンネル登録者】15万人以上

農林水産省職員自らが、YouTuberとなり担当業務にとらわれず、**スキルや個性**を活かして、農林水産省や日本の農林水産業の魅力を発信するプロジェクト。



省内公募制ですので、だれにでもチャンスがあります！

農林水産省の人材育成

○ 農林水産省では、各種研修を行っています。

●一般職試験採用者研修(つくば)

【対象者】

入省1年目の職員全員

【概要】

- ・ 農林水産省の実習圃場でトラクター運転、田植え等の農作業実習
- ・ 食料・農業をめぐる現状について、グループ討議



●農村研修

【対象者】

主に入省1・2年目の職員全員

【概要】

- ・ 農家に派遣され、農作業に従事します。

※実施形態については、各農政局によって異なります。

(例) 中国四国農政局では、1農家に複数名の職員が派遣され、1週間泊まり込みで衣食住を共にし、農作業に従事。



研修報告書



その他研修制度について

○ 以下のような人事院が実施する研修に参加することができます。

●海外留学制度

【概要】

- ・ 人事院の長期在外研究員制度により、海外の大学院の修士課程等へ2年間派遣する制度。
- ・ 語学力が一定以上あり、留学意欲、将来の国際関係業務への従事意欲が高い者が選考される。
- ・ 農業技術系では毎年3～5名程度が留学。



●国内留学制度

【概要】

人事院の国内研究員制度により、国内の大学院の修士課程や博士課程に2～3年間派遣する制度。



ワークライフバランス

○男性・女性職員ともに、生き生きと輝ける働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

育休取得率 男性：66.4%、女性：100%

(参考)

外務省	男：34.1%、女：98%
文科省	男：50%、女：123.8%
厚労省	男：77.5%、女：110.9%
経産省	男：57.2%、女：103.1%
国交省	男：42%、女：102.5%

▶ R4年度から、子どもが生まれた男性職員は「1ヶ月以上育児に伴う休暇・休業を取得する」ことが前提となり、省全体で男性の育児休業取得を推進しています。

農林水産省に併設された保育園



(例) 育児と両立する場合

【女性】出産～育児休業

- ・産前休暇（産前6週間前から出産の日まで）
- ・産後休暇（出産の翌日から8週間）
- ・育児休業（子が3歳に達するまで）

【男性】配偶者の出産～育児休業

- ・配偶者出産休暇（出産時の付き添いで2日）
- ・育児参加のための休暇（妻の産前産後期間中に5日）
- ・育児休業（子が3歳に達するまで）

【育児休業復帰後】仕事と育児の両立

- ・育児短時間勤務（通常よりも短い勤務時間で勤務）
- ・子の看護休暇（年5日）
- ・テレワーク、フレックスタイム制



！まずはマイページ登録！

○農水省のことがもっと知れる多種多様なイベントを企画しています！

- ・ビギナー向け講演
 - ・大学説明会
 - ・人事院/内閣人事局主催説明会
 - ・少人数&個別座談会
 - ・政策テーマ講演
 - ・OB・OG訪問（オンライン&対面）
 - ・インターン
- などなど



【マイページ登録リンク】



【説明会一覧】

※マイページ登録後は
マイページからも確認可

官庁訪問エントリーもマイページから予約いただくことになります！



【パンフレット】

- ・各部署のミッション
 - ・職員インタビュー
 - ・若手の一日 など
- 農林水産省の概要がわかる！

（ お問い合わせ先 ）

農林水産省大臣官房秘書課企画第1班

Mail: saiyou_kanbou@maff.go.jp

Tel: 03-6744-2001

